

センターだより

就労移行支援(養成施設)入所式

入所式



平成31年4月15日(月)、神戸視力障害センターで平成31年度の就労移行支援(養成施設)入所式がとり行われ、3名の利用者の皆様があん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師への道を目指し入所されました。

入所式当日は、桜が入所生を歓迎するかのように満開でした。少し緊張した面持ちの入所生も桜によって緊張がほぐれたのではないのでしょうか。

入所生の皆様は、これから3年間の課程を修めていくこととなります。その中で、楽しいことばかりではなくつらいこともあるかもしれません。この日集まった仲間とともに乗り越え、国家資格を手にすることができるよう頑張ってください。当センター職員一同、利用者の皆様が目標を達成できるよう全力で支援していきます。

もくじ

P2 新規利用者からの声
センター桜について

P3 国家試験結果と進路状況
視覚障害者の趣味について

P4 自立訓練生の声

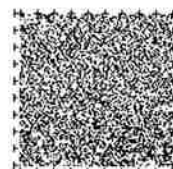
P5 スポーツについて

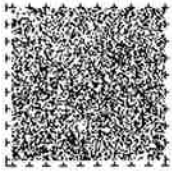
第58回神戸市障害者スポーツ大会
P6 防災について

P6 陶芸訓練について

P7 見学説明会案内
行事予定

P8 利用者募集





就労移行支援(養成施設)新規利用者からの声

広島県の尾道から来ました。趣味は、漫画を読んだり、お笑いのテレビ番組を見たり、そして食べたり寝たりすることなどです。

最近はセンターの周りをウォーキングしたりジョギングしたりしています。最初は体重管理のために始めたのですが、やっているうちに結構楽しくなり続いています。

卒業までには平均体重になるように頑張ります。

勉強は、授業の内容についていけるよう頑張りたいと思います。



私が神戸視力障害センターに入所を決めたのは去年のことでした。きっかけは去年まで約30年間調理師として仕事をしてきましたが、緑内障が進行して調理師業務に支障をきたし車の運転にも限界を感じ転職を考えました。その時ハローワークに行ったりいろいろな方に相談したりしました。その中で身体障害者手帳があれば神戸視力障害センターに入所でき、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験を受ける資格を取得できると知り入所を決断しました。あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師という仕事は今後視力が悪化しても続けていけます。そして何よりも人の心身の不調を和らげることがができます。そのために神戸視力障害センターではたくさんのことを学び技術も習得し、良い施術者になれるように頑張りたいと思います。

明石の西の端からセンターに通っています。

電車に乗り、外の景色を眺めるのが好きです。

勉強の方はマイペースで頑張りたいと思います。

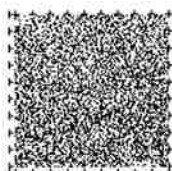


桜が満開♪

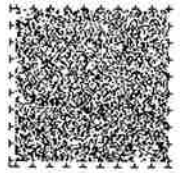
春といえば桜、神戸視力障害センターの桜も満開となりました。当センターに入ってこられる入所者の方をまるで歓迎するかのような桜です。入所式当日も満開でこの日を待っていたかのように咲いた桜並木が、少し緊張した面持ち

の入所生を迎えていました。

入所生の皆様は、これから3年間の課程で様々な困難にぶつかることもあるかもしれませんが、桜を思い出し、国家資格を手にする事ができるよう頑張ってください。



国試結果と進路状況 (就労)



平成31年あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師国家試験合格状況

当センターの今回の国家試験の合格状況は下記となりました。

現役での受験は、あん摩マッサージ指圧師国家試験は2名受験し、1名が合格。
はり師・きゅう師は3名が受験し、合格は1名。

卒業生で再受験された方については、あん摩マッサージ指圧師は2名受験し、
合格は0名。はり師・きゅう師は2名受験し、2名合格となりました。



平成30年度卒業生の進路状況

平成30年度の専門3年生の卒業生は3名。

進路状況は、

- 訪問マッサージ1名〔(株)ベルコ明石支社 西神戸支部 AS店〕
- 病院1名〔(株)日の出医療福祉グループ 医療法人社団 奉志会
大西メディカルクリニック〕
- その他1名 となっています。

また、再理療の卒業生は1名。

現在、就活中です。(令和元年5月31日現在の状況です。)



視覚障害者と趣味

囲碁を楽しんでみませんか?

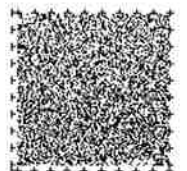
視覚障害者が趣味として、楽しむことのできる。様々なスポーツ・デージーを利用したの読書・音楽鑑賞や演奏・登山・旅行。本当にいろいろなものがありますが、今回紹介するのは囲碁。「囲碁なんてやっている人、少ないんじゃないの。」そんな風に思われる方は多いと思いますが、特に関西では視覚障害者で囲碁を楽しまれている方はけっこういるのです。全国大会の参加者は120名程度。女性の方も多く、また、学生の方も。もちろん、当センターの卒業生もたくさんいらっしゃいます。囲碁の良さは、障害のあるなしに関わらず、いろいろな人と打つことができること。年齢・性別・職種などを超え、様々な人と触れ合うことができます。

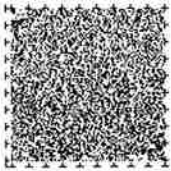


「でも、囲碁って難しいんじゃないの。」そんな風に思われている方も多くいらっしゃいますが、そんなことはありません。確かにとても奥深いゲームですが、ルールは簡単。それに、私たちが使っているのは通常の囲碁版のおよそ4分の1の広さのもの。どなたでも親しむことができます。

「年を取りすぎているから。」「女性だから。」などとおっしゃらず、チャレンジしてみませんか。「目が悪くなってからは趣味はありません。」

センターに入所された方に聞くとそんな答えがよく返ってきます。





自立訓練生の声



通所

私は、視覚5級聴覚3級の第一種重複障害者です。今から2年半前に、生死を分ける心臓手術をおこない、成功はしたものの、病室が暗く感じその時すでに視覚障害がでていたのです。今後の生活に大きな不安を感じ、体力回復指導のリハビリの先生に相談したところ、「専門外ですが訓練、学習施設があるので相談にいかれては」とのアドバイスをうけて、通所するようになりました。視力障害センターの第一印象は「古い」でした。しかし通所を始めると、職員、先生方が障害者自身を基本に考えて、接していただきました。訓練、日程等いろいろな面で、行き違い思い違いはありましたが、その都度障害者目線で取り組んでいただく事ができました。おかげさまで健康だった頃、私の知らない世界を勉強させていただき、本当に感謝しております。まだまだやりたい事に向かって、視力障害センターの全てを利用させていただき勉強して、より良い人生を過ごして生きたいと思っております。

入寮

はじめまして。私は、大阪市内在住の48歳の男性で、大阪城から歩いて行けるぐらいのところに住んでいます。

センターに通うのは大変なので、2月4日から入寮で自立訓練を受けています。

生まれつきの弱視で、右目の視力はゼロ（光覚なし）、左目の視力は0.08でしたが、2年前に網膜剥離で視力を失い、日常生活も困難となり、このセンターにピットインしましたあ。

我が人生をバイクレースに例えてみました。

レーサーは私（昭和のオヤジ）で、今までのマシンは自転車・眼鏡・単眼鏡・弱視レンズでした。

新しいマシンは、白杖・盲導犬（検討中）・PC-Talker、プレクストークリンクポケット、L点字、音声対応の便利グッズです。

ここのメカニック（訓練士さん）は、皆さん超一流で、全員個別に紹介したいのですが、今回は省略させていただきます。

このピットから出て、あん摩・鍼灸という名のレース場へ復活し、チェッカーフラッグまで走り続けようと思っております。



訪問

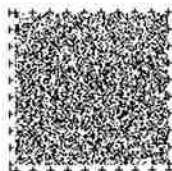
現在、自立訓練を受けている最中ですが、自立訓練を受けて一番良かったと思うのは歩行訓練です。

転居したことで一人での外出もままならなくなりましたが、丁寧に繰り返し指導してもらうことで自宅からバスに乗って最寄りの駅まで安全に行けるようになりました。

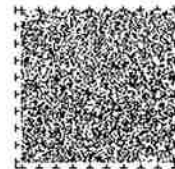
中でも難聴なので周囲の音を聞き分けるのが困難でしたが車の発車音を聞き分けるコツを教えてもらい信号の変わるタイミングを知ることができるようになりました。

お陰様で安全に外出できるようになり自立へ向けて第一歩を踏み出すことができました。

引き続きいろいろな訓練を受けていきたいと思っております。



体育で新しいスポーツに挑戦!



ここ数年、ブラインドラグビーやブラインドボクシングなど、視覚障害者が楽しむことのできる新たなスポーツが増えています。そんな流れに乗り遅れないようにと、体育の授業でも新しいスポーツを取り上げています。昨年度に行ったものは、スラックラインとクライミングです。



スラックラインとは幅5cmほどのベルトを使った綱渡りです。最初は低く張ったラインに片足を乗せて体重をかけるだけでラインが揺れ悪戦苦闘しますが、授業の終盤では片手を支えればラインの上を歩けるようになる方もいます。

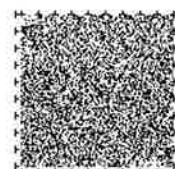


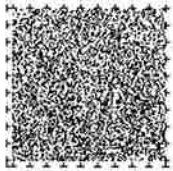
クライミングは幅3m、高さ2mのクライミングウォールを使います。手や足をかけるホールドはパラクライミングの世界選手権3連覇を達成した小林幸一郎さんが設定、20手でクライミングウォールを往復するルートを作ってもらいました。授業でその難コースに挑戦をしています。

令和ではどんな新しいスポーツを取り上げようかと思案中です。

第58回 神戸市障害者スポーツ大会に挑戦!

第58回神戸市障害者スポーツ大会へ、自立訓練生が1名参加致しました。種目はフライングディスクで、アキュラシーとディスタンスの両方に参加致しました。よく晴れ少し暑い日でしたが、自立訓練の体育の中で、練習を重ねてきた成果を発揮した日となりました。他の団体の出場者を応援する場面もあり、来年も参加したいとの声がありました。種目は他に、卓球、水泳、陸上競技があります。未経験でも種目によっては、訓練の中で何度も練習出来るため、来年も自立訓練生の中から参加者が多く出たら嬉しいです。





福祉避難所として



センターは、所在する神戸市と隣接する明石市との間に「福祉避難所に関する協定」を締結しています。

「福祉避難所」とは、災害発生時に障害者や高齢者など一般の避難所での避難生活が困難で、何らかの特別な配慮が必要な「要配慮者」を受け入れ、適切な支援を行う役割を担うために開設する避難所であり、一般的には「災害時に必要に応じて開設される二次的な避難所」とされています。

近年、急速な高齢化や一人住まい世帯の増加などに伴い災害発生時に様々な面で特別な配慮や支援を必要とする「要配慮者」の数はさらに増大しつつあります。

平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災では、被災後の避難生活においてこれらの「要配慮者」が十分なケアが受けられなかったことが問題として指摘されたことを受け、国は「災害時要配慮者の避難支援対策の促進」に取り組んでいます。



障害者差別解消法が施行され、災害時の障害者支援に関しても「合理的配慮」の観点から一層の拡充が求められており、視覚障害者支援の専門機関である当センターには専門性の高いサービスを提供する拠点的な役割を担うことが期待されています。

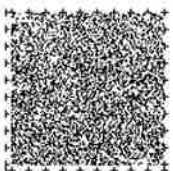
なお、「災害時に被災した視覚障害者を受け入れる。」という姿勢を広くお示しする意味もあり両市と協定を締結していますが、協定の有無にかかわらず災害時にはどこからの要請であっても、当センターの対応可能な範囲において受け入れることとしています。

陶芸訓練

陶芸訓練の講師をしています崎野哲志です。毎週火曜日、利用者の皆さんと和やかな雰囲気で作陶しています。

充実した設備があり、個々に合わせた指導で、希望の作品作りをしていただいています。

陶芸を通して、ものづくりの醍醐味である作る喜び、使う楽しみを知っていただけたらと思います。「手で見てつくる」。訓練で感じた指先や手の感覚を生活面でも応用して活かしてほしいと思います。皆さんの参加をお待ちしています。



見学説明会について



神戸視力障害センターでは、視覚障害者や保護者の皆さま、関係機関の皆さまに、実際の訓練の様子を見ていただくことで、当センターについてご理解いただきたいと考え、見学説明会を実施しています。この機会にぜひ、ご参加ください。

日時 令和元年 10月16日 (水)

対象

- 視覚障害のある方で進学、就労、キャリアアップを考えている方、並びにその保護者
- 相談支援事業所など福祉関係者
- 眼科医など医療関係者
- 学校関係者

その他

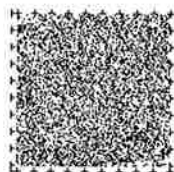
訓練公開のプログラムや申し込み方法など詳細は9月中旬に当センターホームページに掲載予定です。



センター行事予定 (2019年10月から2020年3月)

10月 1日 (火)	後期授業開始(専門1・2・3)	
上旬	レクリエーション	
23日 (水)	避難訓練	
11月 下旬	避難訓練	
12月 中旬	避難訓練	
19日 (木)	冬期休業(再理療教育、就労移行支援1月5日まで)	
24日 (火)	冬期休業(自立訓練、1月5日まで)	
1月 6日 (月)	授業、訓練開始	
15日 (水)	臨床研修コース募集期間(31日まで)	
2月21日 (金)	後期授業終了(専門3)、再理療教育閉校式	
22日 (土)	あん摩マッサージ指圧師国家試験	
23日 (日)	はり師・きゅう師国家試験	
26日 (水)	卒業証書授与式	
28日 (金)	後期授業終了(専門1・2)、終業式	
29日 (土)	春期休業(就労移行支援、4月上旬)	
3月 中旬	消防設備総合点検	
下旬	国家試験合格発表、センターだより発行	

利用者募集



視覚に障害のある方を対象として、就労移行支援（養成施設）、自立訓練（機能訓練）のサービスを提供しています。

就労移行支援（養成施設）は3年制で、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得のための職業訓練を行います。資格取得後の進路は、高齢者施設や一般企業のヘルスキーパー（企業内理療師）等への就職、治療院の開業、進学等です。

自立訓練（機能訓練）では、歩行、パソコン、タブレット端末、録音再生機器、視覚的補助具（ルーペ、単眼鏡、拡大読書器、遮光レンズ）、日常生活に関する訓練（例：調理）等を行います。訓練を修了された方の中には、当センターの就労移行支援（養成施設）に進む方もいます。

利用を希望される方は、まず当センターにご相談ください。来所による相談や見学も受け付けています。なお利用申込に必要な書類は当センターから取り寄せていただくか、ホームページからも印刷できます。利用に関する相談以外に、生活に役立つ道具のご紹介、他の施設やサービス等のご案内もいたしますので、お気軽にご連絡ください。

就労移行支援（養成施設）

- 対象** 視覚に障害のある方で、施設利用について市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けた、次の①または②に該当する18歳以上の方。
- ①学校教育法第90条第1項の大学に入学することができる方。
 - ②当センターが実施する「個別利用資格審査」によって、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められた方

募集人員 20名（あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程）

利用開始 令和2年4月上旬

利用期間 3年間

利用方法 通所またはセンター内宿舎利用（宿舎は休日も利用可）

受付期間 2019年8月頃より（お問い合わせ下さい）

自立訓練（機能訓練）

対象 視覚に障害のある方で、施設利用について市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けた方

定員 10名

訓練内容 歩行 パソコン 点字 ロービジョン 調理 スポーツ 陶芸 レクリエーションなど

利用期間 個人に応じる

利用方法 通所またはセンター内宿舎利用、訪問訓練（※応相談）

備考 利用申込や利用開始時期は随時

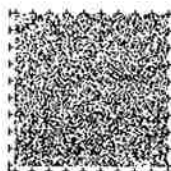
センター見学のご案内

当センターでは、随時見学を受け入れております。

「センターの利用を考えたけれど不安」というご本人やそのご家族、「紹介したいけれど、よく分からない」というお知り合いの方や福祉関係者の皆様など、授業や訓練の様子、宿舎など、見学できます。お気軽にお越しください。

見学が可能な時間 平日（月曜日～金曜日） 9時～17時まで（要予約）

電話：078-923-4670 見学をお考えの方はご予約ください。



連絡先

神戸視力障害センター 支援課

電話 (078) 923-4670 FAX (078) 928-4122

ホームページ：<http://www.rehab.go.jp/kobe/> E-mail：soudan-kobe@mhlw.go.jp